ロッキーのHP→www.asahi-net.or.jp/~sd5h-mksm/rockytop12.html

PICKIN' SINGIN' GINZA
Rocky Top かわら版 第71号

'02、3、18 発刊

Yeah!マネージャーNo30 ～懐しき日々～ 「Yeah!マスター」の巻

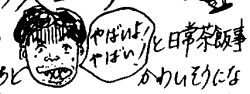
作 チーフ井上

拝啓 April

前マネージャー小柳さんが逝ってはや二ヵ月以上がたちました。今だに信じられませんが、日々がたつにつれて、「もう、いないしだー」という寂しさがつのります。あと一回ぐらい怒らせたかったな、もっと話せば良かったなんて思います。何気ない会話でさえ大きな想い出です。そんなことって必ず後から気づくことなんだろう…

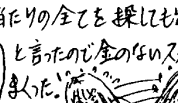
マスター田口の不幸デラックスコーナー

◎ひまわりの種入り財布粉失事件……だいたい言ってるので大抵のことには耳を貸さないのだが今度はちと

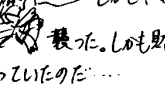


と日常茶飯事かわいそうになった。晴れてマスターになった矢先、わりかし大金の入った財布をむなしくも粉失ししまったのだ。心当たりの全てを探しても出てこない。そしてついに彼は

と言ったので金のないスタンレー丸山などはすごい勢いで探しまくった。



しかしやはり見つからず「絶望」の二文字がまた彼を



襲った。しかも財布の中には1万円で買った「幸福になるひまわりの種」が入っていたのだ…

◎あと1点の男……昨年の駐車違反で30日免停をくらい、マスターになった今年1月を電車通勤を強いられた田口氏だったが、その期間も終わり、ようやく免許を返してもらった数日後、またしても銀座にて駐禁をとられてしまった。白い枠内に入れてたため減点は1点だが、

2点しか持ち点はなかったので現在あと1点。しかも2年間無事故無違反でいかないと元の6点に戻らないというハードな境遇だ。このギリギリの買い殺しのような割りがいかにも彼らしい不幸デラックスを感じる…

小柳さんとスタッフとの思い出 ～スタンレー丸山の場合～

「Song For Suzan」を弾きこなし余裕しゃくしゃくの天才バンジョー弾きスタンレー丸山だが、「いらっしゃいませ!」をはきはき言えないことが多い。見兼ねた小柳さんがある日、ミーティングの終わりに

あとは丸山の返事だそー お客さん来たら「いらっしゃいませー」とでも声で言えよ! ライブじゃいつも

バッキン、バッキン! なんだろー!

バッキン、バッキンという聞き慣れない怪しい謎にしばしの沈黙の後、爆笑が起こり、小柳さんも笑った。

それとも有名なそうじ機事件(年末からホースが抜けた状態で「おかしーな?」とつぶやきながらそうじし続けていたのを丸山に発見された事件)以来スタンレー丸山は小柳さんを見るだけで笑ってしまうようになってしまった。

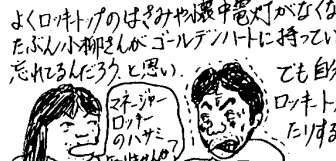
と怒ったこともあったが大抵小柳さんもつられて笑うことが多かった。

本当にいつも真剣だからこそはたから見ていておもしろかったのだ。小柳さんのお墓は故郷の静岡にできたらしいです。スタッフみんなで墓参りしようと思ってます。新しいかわら版も見せにいこう!

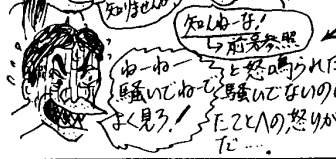
前マスター小柳和興 名言集!……最高のオリジナリティを誇る小柳さんの残した名言の数々を紹介します。かなりマニアックなのですがお楽しみ下さい。

①「ねーねー、騒いでねーでよく見ろ!」

よくロッキートップのはさみや観中電灯がなくなることがあった。たぶん小柳さんがゴールデンハートに持っていって、そのまま返し忘れてるんだろう、と思い、



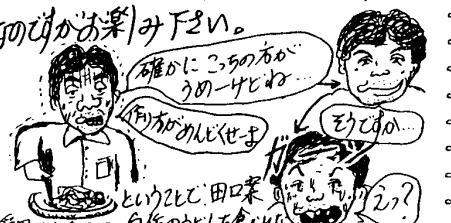
でも自分の早とちりで実はロッキートップにちゃんとあったりすると、もう大変だ



と怒鳴られたものの、ちっとも騒いでないのだが単に疑われたことへの怒りが爆発しているのだ…

②「確かにこっちの方がうめーけどね…」

昨年のこと、焼うどんの味つけを変えることになり、2種類の味を試食することとなった。1つは田口案、1つは小柳案。小柳さんがゴールデンハートの仕事を終え試食しにやって来たのだが、スタッフ内山が誤って小柳案のを全部食べてしまったことに腹を立て、田口案のうどんを食べて一言。↑



ということで、田口案は採用されなかった。自作のうどんを食べれなかったいうだけが原因なので実はスタッフ内山が悪かったのだ…

③「グンナーイ!」

外人のお客さんが帰る時に必ず出た言葉。まず来た時、ご会話が終わり、その後は無視したかのごとく何も話さず、帰り際に突然!

と叫んだ。他の日本人のお客さんもびっくり、というテンション。これぞ自信満々の英語だったようだ。

Pick Up ライブ!

4/22(月) クリス・シャープ&井上太郎

グラミー賞3部門を受賞した「Oh Brother」のサントラ版に参加。また故ジョン・ハートフォードともバンドを組んでいた28才の若手ボーカリスト、クリス・シャープと昨年ETSUという唯一ブルーグラス課のあるアメリカの大学の代表バンドの一員として来日したマントリック井上太郎のデュオ。若い2人が奏でるブルーグラスの未来をしかと堪能しよう! チャージ ¥2,000

予約受付中!

新メニュー登場、その名も「ドカン!」

ブルーグラスインの人気メニューだった「ドカン」をマスター田口が復活させた。マトン肉と玉ねぎをもやし、ピーマンをいため、卵(なま)と特製手作りソース(にんにく、しょうが風味)をかけ、それらを熱々のうちにかき混ぜながら食べる。マトンの臭みが何故か消え絶妙なうまみに変わっている。ドカーンとしたうまさだ。是非一度御賞味あれ! ¥700なり。